

全員協議会(平成29年5月15日開催)議事録の改ざん

この協議会は、拙著「滅びゆく日本の処方箋」に記載した旭市の行政の現状について私を糾弾する「吊るし上げ大会」でした。この議事録は改ざんされております。

議長は11時1分に11時10分まで休憩します、と宣言し、予告通り11時10分に再開宣言しました。しかし、議事録では休憩を30分とったと改ざんし、再開直後20分にわたって行ったドンの大演説を削除しております。理由は休憩中の発言は録音しないから、とのことでした。

一体なぜドンは自分の発言の削除を要求したのでしょうか。考えられることは 政務活動費の不正請求を告発されているが、これはつまらないことだから反対告訴に値しない、と顧問弁護士に言われた。 次の市議会議員選挙には有田氏に追及されたけじめとして出馬しない。と言った自分の発言を消したかったためでしょう。

旭市の現状は異常です。まるでやくざ集団です。親分の命令にはどんな不正行為でも嘘について従うのです。ドンが要求した議事録の改ざんを議会事務局は素直に実行したのです。この件について責任者である市議会議長に正しい議事録へ修正するよう文書で求めました。しかし、議長は己の権限をドンに犯されているにもかかわらず、腹を立てるところかこの改ざんを回答文書の1項記載の通り、見え透いた大嘘について容認しております。返事文書受領後、議長に電話しましたが受信拒否され、留守電に電話をくれるよう依頼しておりますが電話はありません。また、メールでも問い合わせをしておりますが、全く返事はありません。自分が嘘をついていることを認識しているためでしょう。

回答文書2項で、私に反論の機会を与えなかった件について「そのほかに何かご意見はありませんか。」と皆さんに投げかけており、「反論の機会を与えず」との指摘は当たりませんが、と言い訳しております。確かに「そのほかにご意見はありませんか」とは言いましたが、手を挙げる暇もなく間髪を入れず終了宣言しており、反論しようがなかったのです。

以下、私が議長に出した文書と議長の返事文書を掲示します。

(私が市議会議長に出した文書)

平成29年5月30日

旭市議会議長 佐久間茂樹殿

旭市議会議員 有田恵子

5月15日開催の全員協議会に関する件

当日の議事録を入手しましたが、林正一郎氏の発言が全て削除されております。録音担当の黒柳氏に何故削除したのか問いただしたところ休憩中の発言であり、休憩中は録音をしないので、と言い訳しております。しかし、貴殿は11時1分に11時10分まで休憩します、と宣言し、その宣言通り11時10分に「休憩前に引き続き会議を開きます」と宣言し、再開しております。林正一郎氏が発言したのは貴殿が再開宣言した後で休憩中ではありません。

また再開は11時10分であるにもかかわらず、議事録には11時30分と嘘の記述をしております。

重要な発言を虚偽の理由で削除し、再開時間を偽って記載した議事録は虚偽の議事録であり、文書偽造の犯罪に該当するのでないでしょうか。

正しい議事録に修正するようご指導ください。

なお、予定終了時刻12時まで25分も時間があるのに、私に反論の機会を当てず、閉会したのは何故ですか。

(市議会議長から私への返信文書)

平成29年6月2日

旭市議会議員 有田恵子 様

旭市議会議長 佐久間茂樹

5月15日開催の全員協議会に関する件について

平成29年5月30日付にて照会のありました表題の件について、次の通り回答します。

記

1. 私は、「11時10分まで休憩します。」と発言しましたが、11時10分に林正一郎氏に確認し、休憩中なら話せるということで、それでよいかと皆様にお尋ねし、休憩中のまま林議員に発言を求めました。発言終了後11時30分に「休憩前に引き続き会議を開きます。」とここで会議を再開しております。従って、11時1分から11時30分までの間は休憩中であり、会議録は正確なもので修正の必要はありません。
2. 私は、飯嶋正敏議員の発言の後、「そのほかに何かご意見はありますか。と皆さんに投げかけており、「反論の機会を与えず」との指摘は当たりません。